希学園 第397回 公開テスト 小５ 算数　2025年６月８日実施 模範解答 制限時間40分

1

(1)	1992	(2)	㋐ 0.4　㋑ 0.2	(3)	$4\frac{70}{97}$
(4)	20.5	(5)	300	(6)	125
(7)	16700	(8)	5.5555 (kg)	(9)	1.57 (L)
(10)	㋐ 2 (時間)　㋑ 34 (分)　㋒ 56 (秒)				

(2)(10)；各完答

2

(1)	8	(2)	134	(3)	38 番目

3

(1)	30 本	(2)	60 本	(3)	4 m

4

(1)	14	(2)	20	(3)	3 通り

5

(1)	2 cm^2	(2)	10 cm^2	(3)	6 cm^2

6

(1)	6 通り	(2)	9 種類	(3)	15 種類

（配点）各４点×25

希学園 第397回 公開テスト 小５ 算数　2025年６月８日実施 解説

1 (3)　$8\frac{3}{97}-(2\frac{54}{97}+4\frac{31}{97}-3\frac{55}{97})=7\frac{100}{97}-3\frac{30}{97}=4\frac{70}{97}$

(4)　7.5×3.2−59.5÷17＝24−3.5＝20.5

(5)　975−{45×44＋(99−36÷４)÷２}÷３
＝975−(1980＋90÷２)÷３
＝975−2025÷３＝300

(6)　{2900−(□×８−34×16−64×４)}÷５＋459＝999
{2900−(□×８−34×16−64×４)}÷５＝999−459
＝540
2900−(□×８−34×16−64×４)＝540×５＝2700
□×８−34×16−64×４＝2900−2700＝200
□×８＝200＋256＋544＝1000
□＝1000÷８＝125

(7)　167×３×17＋49×167＝167×(51＋49)＝16700

(8)　125.5ｇ＋5.43kg＝0.1255kg＋5.43kg＝5.5555kg

(9)　25.3dL−□L＝960cm³
□L＝2.53L−0.96L＝1.57L

(10)　７時間÷３＝２時間余り１時間
(44＋60×１)分÷３＝34分余り２分
(48＋60×２)秒÷３＝56秒　　よって，２時間34分56秒

2　下のように１セット４個で分ける。

	A	B	C	D	和
①	1，	3，	5，	7	16
②	2，	4，	6，	8	20
③	3，	5，	7，	9	24
⋮		⋮		⋮	

(1)　22÷４＝５(セット)余り２(個)より，６セット目の２番目の数と分かる。よって，６＋２＝8

(2)　セットごとの和に注目すると，16から４ずつ増える規則があることが分かる。
５セット目の和は，16＋４×(５−１)＝32
(16＋32)×５÷２＋６＋８＝134

(3)　７以上の数は１回目はD，２回目はC，３回目はBの列に出てくる。B列は３から１ずつ増える規則があるので，
(12−３)÷１＋１＝10より，10セット目の２番目で３回目に12が出てくるとわかる。
４×９＋２＝38(番目)

3 (1)　1800÷60＝30(個)…桜の間の数→桜は30本。

(2)　1800÷20＝90(個)→桜とポプラの合計本数は90本。
90−30＝60(本)

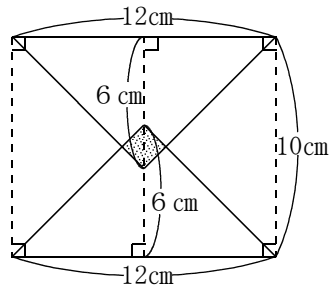
(3)　90＋360＝450(本)…桜とポプラとチューリップの合計
1800÷450＝４(m)

4 (1)　A×７＝Eより，Aは10以上14以下。
カードの重複がないのは，(A，E)＝(12，84)，(14，98)
A×４＝Cより，(A，C)＝(12，48)，(14，56)となり，
重複なくカードを使えるのは，A＝14のときのみ。

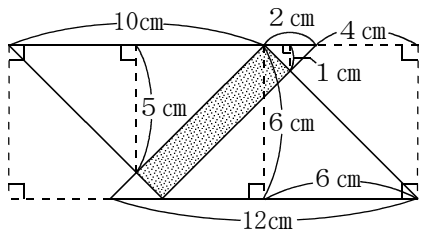
(2)　A＝14，C＝56，E＝98より，BとDは，０，２，３，７のカードでできた２けたの数と分かる。
よって，Cより大きい２で割り切れない数は73のみ。
→Bは20。

(3)　０，２，３，７のカードでできるCより大きい２で割り切れる数は70，72。Dが70のとき，Bは23，32の２通り。Dが72のとき，Bは30の１通り。
よって，２＋１＝3(通り)

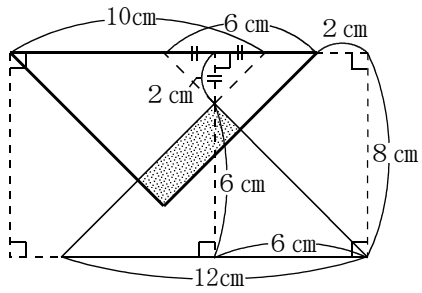
5 (1)　底辺が12cmの直角二等辺三角形の高さは，12÷２＝６(cm)
重なってできる正方形の対角線は，
６＋６−10＝２(cm)
２×２÷２＝2(cm²)



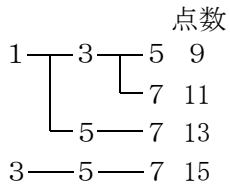
(2)　図のように長さを書きこむ。
斜辺が10cmの直角二等辺三角形の高さは，10÷２＝５(cm)
斜辺が２cmの直角二等辺三角形の高さは，２÷２＝１(cm)
12×６÷２−10×５÷２
−２×１÷２＝10(cm²)



(3)　図のように長さを書きこむ。
太線部分の直角二等辺三角形から，網目部分以外を引く。
網目部分以外の面積は，
10×５÷２＝25(cm²)
６×３÷２＝９(cm²)の２つの直角二等辺三角形の合計から，重なりの直角二等辺三角形を引くことで求められる。
４×２÷２＝４(cm²)
25＋９−４＝30(cm²)
よって，12×６÷２−30＝6(cm²)



6 (1)　点数が奇数となるのは３回とも別の数に当たったときのみ。
３回とも別の数に当たるときの得点は
右の樹形図より，４種類。
よって，(１，５，７)を並べ替えた，
３×２×１＝6(通り)



(2)　・１に２回当たったとき
１＋１×２＋□＝点数
３→ ６
５→ ８
７→ 10

・３に２回当たったとき
３＋３×２＋□＝点数
１→ 10
５→ 14
７→ 16

・５に２回当たったとき
５＋５×２＋□＝点数
１→ 16
３→ 18
７→ 22

・７に２回当たったとき
７＋７×２＋□＝点数
１→ 22
３→ 24
５→ 26

よって，９種類。

(3)　３回同じ数に当たったときの点数は，
１＋１×２＋１×３＝６(点)
３＋３×２＋３×３＝18(点)
５＋５×２＋５×３＝30(点)
７＋７×２＋７×３＝42(点)
６点と18点は(2)に重複するものがあるので，
(1)，(2)で求めた点数と合わせて，
４＋９＋４−２＝15(種類)

（配点）各４点×25